



作業療法「園芸」(旧八王子医療刑務所、撮影:外山ひとみさん)

## 薬物依存からの回復を考え、支えるために

犯罪を繰り返してしまう人の中には、違法薬物やアルコール、ギャンブルなど、依存の問題を抱える人も少なくありません。依存に至る過程では、虐待や差別など社会からの排除を受けた人が少なくなく、孤独感や不安、焦り等を抱えています。孤立を深めないために、また、誰一人取り残さない地域社会を作るために、再犯防止と依存症について、一緒に考えましょう。

### プログラム概要

#### ● 講演

「依存症に対する正しい理解と必要とされる支援について」

成瀬 暢也氏 (埼玉県立精神医療センター副病院長)

#### ● パネルディスカッション

「薬物依存からの回復を考え、支えるために」

コーディネーター

荻上 チキ氏 (評論家)

パネリスト

成瀬 暢也氏 (埼玉県立精神医療センター副病院長)

栗坪 千明氏 (NPO法人 栃木DARC理事長)

加藤 治氏 (栃木県 保健福祉部薬務課長)

岩谷 奈々実氏 (栃木刑務所 教育専門官)

令和元年

**11月10日** 

13:30~16:00 (開場12:30)

**さいたまスーパーアリーナ  
TOIRO (STUDIO1・2)**

〒330-9111 埼玉県さいたま市中央区新都心8

- JR(京浜東北線・宇都宮線・高崎線)  
さいたま新都心駅より徒歩4分

応募締切

**11月6日**  **必着**

定員

**先着300名** 定員になり次第  
締め切らせて  
いただきます

同時開催 入場自由

**刑務所作業製品の展示即売  
性格検査体験(無料)**



## プロフィール

### 講演／パネルディスカッション パネリスト



なるせ のぶ や  
**成瀬 暢也氏**

精神科医  
埼玉県立精神医療センター副病院長

日本では数少ない依存症治療の専門医。順天堂大学医学部を卒業後、同大精神神経科入局。研修医として勤務し、同大助手を経て埼玉県立精神保健総合センターに開設と同時に勤務。1995年から同センターの依存症病棟に配属。2008年からは埼玉県立精神医療センター副病院長と、埼玉県立精神保健福祉センターの副センター長を兼任（いずれも埼玉県立精神保健総合センターが組織改編されたもの）。近著「ハームリダクションアプローチ」（中外医学社）。

### パネルディスカッション コーディネーター



おぎう え  
**荻上 チキ氏**  
評論家

1981年生まれ、兵庫県出身。TBSラジオ「荻上チキ・Session-22」メインパーソナリティ。2016年4月、TBSラジオ「荻上チキ・Session-22」でギャラクシー賞・ラジオ部門DJパーソナリティ賞。2017年4月、TBSラジオ「荻上チキ・Session-22」（1月17日放送「薬物報道ガイドラインを作ろう！」）でギャラクシー賞・ラジオ部門大賞を受賞。近著「みらいめがね それでは息がつまるので」（暮しの手帖社、ヨシタケシンスケ氏との共著）。

### パネルディスカッション パネリスト



くりつ ほ ち あ き  
**栗坪 千明氏**

NPO法人 栃木DARC 理事長

自身も元薬物使用者だったが回復し、官民協働の刑事施設「喜連川社会復帰促進センター」において、受刑者向けのプログラムの企画・実施を行う。法務省保護局が開催する、薬物依存に関する外部専門家によって構成される「薬物地域支援研究会」のメンバー、厚生労働省の薬物依存者の家族向け冊子の編集委員、少年院「榛名女子学園」のスーパーバイザー、栃木県依存症対策推進委員、栃木ダルク代表理事など、薬物依存からの回復に向けた様々な取り組みに対して幅広く尽力している。

か とう おさむ  
**加藤 治氏**

栃木県保健福祉部薬務課長

※出演者は追加となる場合があります。

いわたに な な み  
**岩谷 奈々実氏**

栃木刑務所教育専門官

### と や ま 外山ひとみさんの写真について

写真家・作家の故 外山ひとみさんは、塀の中の営みを見つめ、瞬間の「生」にこだわった写真を数多く残されました。その姿が塀の外でも生かされてほしいとの願いが込められた作品を多くの方と共有したく、この写真を掲載しています。

## 申込方法

締切以前であっても定員になり次第、締め切らせていただきます。お申し込みいただいた方には、参加の可否をメールまたはお電話でご連絡いたします。

**1 メールにて申込の場合**  
kyosei@shopro.co.jpに申込者情報を送信してください。

**2 FAXにて申込の場合**  
FAX番号03-3515-6881宛に申込者情報を送付してください。

**3 ハガキにて申込の場合**（下記住所に申込者情報を記載のうえご送付ください。）  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 SP神保町第2ビル5階  
（株）小学館集英社プロダクション内 再犯防止シンポジウム事務局

応募締切

定員

# 11月6日(水) 必着 先着順(300名様)

定員になり次第  
締め切らせて  
いただきます

再犯防止シンポジウム事務局 FAX:03-3515-6881

再犯防止シンポジウム2019 in 関東ブロック「薬物依存からの回復を考え、支えるために」お申込者情報

氏名 (※ニックネーム可)	所属
ご連絡先 (※e-mailまたはTEL)	
本シンポジウムのことをどこで知りましたか? (いずれかに○をつけてください)	A:主催者からの案内 ( <input type="checkbox"/> 小学館集英社プロダクション <input type="checkbox"/> 法務省 ) B:出演者からの案内 (出演者名: _____ ) C:各種団体からの案内 (案内元: _____ ) D:ポスター等を見て (掲出場所: _____ ) E:その他 ( _____ )

お問い合わせ先

再犯防止シンポジウム事務局 (株式会社 小学館集英社プロダクション内 担当:金井・平沼・谷)  
TEL番号:03-3515-6847 (平日10:00~17:00) E-mail:kyosei@shopro.co.jp

\*個人情報の取り扱いについて:ご応募いただいた個人情報につきましては、厳重に管理し本シンポジウムの開催・運営についてのみ使用させていただきます。